

キャベツ根こぶ病の多発圃場における各種防除対策の組み合わせによる効果

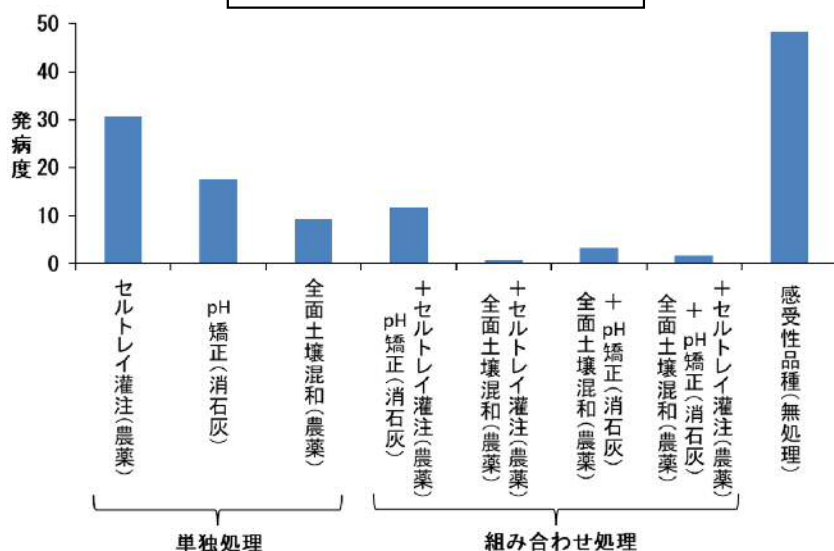
感受性品種は、複数の防除対策の組み合わせで発病抑制効果が強化され、抵抗性品種では、発病がほとんど認められない

背景・目的

- ・根こぶ病に対する各種農薬処理の効果，土壤管理による発病抑止技術，抵抗性品種の特性解明が必要
- ・これら個別防除技術を組み合わせた，キャベツ根こぶ病の総合防除技術が必要

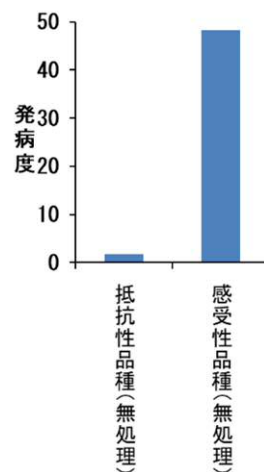
成果の内容

感受性品種を用いた場合



単独の防除対策に比べ、複数の防除対策を組み合わせることでさらに発病を抑制（農薬の全面土壌混和+セルトレイ灌注が最も効果が高く低コスト）

抵抗性品種を用いた場合



根こぶ病の多発圃場でも発病はほとんど認められない

導入メリット

・根こぶ病の多発生圃場においても防除が可能
(農薬の全面土壌混和+セルトレイ灌注)

・抵抗性品種の活用により、農薬による防除を削減でき、防除経費を軽減

・研究成果をもとに、発病レベルに応じた防除対策を選択（総合防除技術を確立しマニュアル化）

キャベツ根こぶ病の発病レベルに応じた総合防除対策マニュアル



平成31年3月

期待される効果

各種防除対策のマニュアル化で、キャベツの安定生産に寄与

普及対象・範囲 キャベツ生産者